

令和4年3月31日

出張報告書

津山市議会議員 西野 裕平

出張日	令和3年4月16日
種別	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究・視察 <input type="checkbox"/> 要請・陳情 <input type="checkbox"/> 研修会 <input type="checkbox"/> 各種会議
出張先	兵庫県篠山市 兵庫臨芸美術館
調査研究項目 要請・陳情項目 研修会・会議名	NO Man's Land 臨芸の未来、未来見ぬ地平の先
応対者/講師名	
目的	人間の未来と共に成長した臨芸の表現する 美術館
概要	日本六古窯の丹羽焼を世界に発信している。 県立臨芸美術館であるが、丹羽焼を丹羽焼を 世界遺産にと言う遠大な想いがあるのが分かる。 杜大では珍しい美術館だ。一度は行って見たいとある。 内容も良いが美術館の杜大士におどろいた。
得られた成果 市政への反映点 今後の課題点 など	これは「けあご」に等しいものを造るとは言われるが 創意工夫で津山らしいとある美術館を造りたい ものである。

※欄が不足する場合は、別紙で添付してください。

令4年3月31日

出張報告書

津山市議会議員 西野 修平

出張日	令3年5月2日
種別	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究・視察 <input type="checkbox"/> 要請・陳情 <input type="checkbox"/> 研修会 <input type="checkbox"/> 各種会議
出張先	新見美術館
調査研究項目 要請・陳情項目 研修会・会議名	新見美術館 開館30周年記念行事 「假屋崎省吾の世界展」
応対者/講師名	
目的	生け花文化の創作大家が「老若男女を問わず」 目と学しませよと云う。
概要	假屋崎省吾と云う異端児が生け花の世界で目覚 まし大家となつて、多くの人を喜ばせる。独創性があり 新しい文化を創り上げた。中、高価の作品を評価する ことについて、若者に未来を授けせる展示会であり数回 のロングランにある。
得られた成果 市政への反映点 今後の課題点 など	津山の多くは生け花教室があるが伝統を守り 一応で若者の入内者が少なくなつてゐる。假屋崎氏 の様な人をよんで新しい感覚で文化に接する 事も必要ではなからぬ。

※欄が不足する場合は、別紙で添付してください。

令 4 年 3 月 31 日

### 出張報告書

津山市議会議員 西野修平

出張日	令 3 年 5 月 4 日
種別	<input type="checkbox"/> 調査研究・視察 <input type="checkbox"/> 要請・陳情 <input type="checkbox"/> 研修会 <input type="checkbox"/> 各種会議
出張先	鳥取県 智頭町 石谷家庭園
調査研究項目 要請・陳情項目 研修会・会議名	園指定の家と庭園が公開されている。
応対者/講師名	
目的	文化財である家の造(造り)と庭園を視察
概要	江戸末期の庄屋の林業を営んで「日本有数の山林家」とある石谷家。家の造りが圧巻であり土間の広土高。日本でも数少ない家である。そして、そのふと出た庭園の造りだ。
得られた成果 市政への反映点 今後の課題点 など	津山の歴建の修復に一度はこういう建物を見ておく必要がある。随所に園を目張る技がほかに見られる。見掛だけならなく本物の技を取り入れてほしい。

※欄が不足する場合は、別紙で添付してください。

令和4年3月31日

出張報告書

津山市議会議員 西野 裕平

出張日	令和3年5月5日
種別	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究・視察 <input type="checkbox"/> 要請・陳情 <input type="checkbox"/> 研修会 <input type="checkbox"/> 各種会議
出張先	井原市 華鶴大塚美術館
調査研究項目 要請・陳情項目 研修会・会議名	「茶の湯事始 - 利休と織部展」
応対者/講師名	
目的	日本を代表する文化芸術の真にせまる本物の展示会
概要	ワビ茶の始祖利休とその弟子古田織部の対象的存在と表現の展示会である。利休は日本文化を代表し、織部はその弟子でありながら、焼物の作風が当時では若くはなごころでありながら現在にも斬新な姿勢を残している。しかし、その中には共通したものがワビサビである。この事理解が文化の伝承である。
得られた成果 市政への反映点 今後の課題点 など	ワビサビは永遠の課題であるが、津山を紹介するにはある程度理解した上で「茶の湯」においてもその事大切であると思われぬ。

※欄が不足する場合は、別紙で添付してください。

今4年3月31日

### 出張報告書

津山市議会議員 西野 修平

出張日	今3年6月22日
種別	<input type="checkbox"/> 調査研究・視察 <input type="checkbox"/> 要請・陳情 <input checked="" type="checkbox"/> 研修会 <input type="checkbox"/> 各種会議
出張先	広島県神石高尾町スエラ
調査研究項目 要請・陳情項目 研修会・会議名	そは打5講習会
応対者/講師名	横山 哲美
目的	そは打5技術の向上
概要	年4回泊り込み講習会がある。日本の最高峰の技術を持つ右投手である。そは打5超軍を目標にする。
得られた成果 市政への反映点 今後の課題点 など	今日津山でもそは打5チームと思う うどんと虚ろ2回単に打2回と思う 比おにのくそはの打2、食するこは目的。

※欄が不足する場合は、別紙で添付してください。

今年3月31日

出張報告書

津山市議会議員 西野修平

出張日	今年3月31日
種別	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究・視察 <input type="checkbox"/> 要請・陳情 <input type="checkbox"/> 研修会 <input type="checkbox"/> 各種会議
出張先	岐阜県高山市
調査研究項目 要請・陳情項目 研修会・会議名	高山伝統工芸品展 驛春慶塗りについて 宮川朝市、まちの博物館、国宝「からくり山車」 を視察
応対者/講師名	岐阜驛春慶連合協会副会長 福壽様
目的	伝統工芸品の現在どの様になったか、宮川朝市 を見て津山の宮川朝市と比較。その後の感想より 津山の市長もまち丸ごと博物館と云うこと。
概要	昔ほど伝統工芸品が売れる時代では無い。一時と なって品数も少なくなり値段も高くなること。そして 合掌に変わったこと。高山の朝市は今も毎々開かれ 高店街ととなり合わせられたこと。まちの博物館は 造り酒屋正油を改造して、町の一角が丸ごと博物館 である。多くの伝統工芸品や美術品が店内に ある。町の工場が見える。
得られた成果 市政への反映点 今後の課題点 など	城下町から幕府直轄になった歴史。そして 日本有数の観光地となっている。津山市が学習 すべきことです。

※欄が不足する場合は、別紙で添付してください。

令和4年3月31日

# 出張報告書

津山市議会議員 西野 裕平

出張日	令和3年8月7日
種別	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究・視察 <input type="checkbox"/> 要請・陳情 <input type="checkbox"/> 研修会 <input type="checkbox"/> 各種会議
出張先	岐阜県大野郡白川郷
調査研究項目 要請・陳情項目 研修会・会議名	白川郷伝統的建造物群群衆視察
応対者/講師名	白川村 松本課長 補佐
目的	世界遺産とある2つの建物の群衆の保全管理とこれと関わりながら生活している実態
概要	日本有数の山岳地域で豪雪地であり農地もない所で「ニニヤ」繁栄している。
得られた成果 市政への反映点 今後の課題点 など	人の生活場としては考えられる19世紀条件の中でこの地でなければ出来ぬ事を見出し 創意工夫の中で成り立ってきた事を見習うべき

※欄が不足する場合は、別紙で添付してください。

令和4年3月31日

出張報告書

津山市議会議員 石野 裕平

出張日	令和4年8月5日
種別	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究・視察 <input type="checkbox"/> 要請・陳情 <input type="checkbox"/> 研修会 <input type="checkbox"/> 各種会議
出張先	石川県白山市
調査研究項目 要請・陳情項目 研修会・会議名	吉野工業の里を視察
応対者/講師名	白山吉野地域振興協議会会長 小尾昌弘様
目的	吉野工業の里が「地域21」の様相役割を(21)と、
概要	工業鎮になつた21の建物が富山県より移築されたものあり北陸を代表する建築です。これと建つた人が6代続いた火焼の窯元であり石川県無形文化財に指定された人です。自分の作品を展示して弟子の教育をした事から現在屋敷を公園にして建物を市の管理にして多くの工業家が使用。
得られた成果 市政への反映点 今後の課題点 など	建物自体が博物館でありその中から多くの人が色々な作品を鑑賞し展示会がなされてくる。津山市の在り来たりな余公民館とは一層違った物である。

※欄が不足する場合は、別紙で添付してください。



今年3月31日

出張報告書

津山市議会議員 西野 隆平

出張日	今年10月3日
種別	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究・視察 <input type="checkbox"/> 要請・陳情 <input type="checkbox"/> 研修会 <input type="checkbox"/> 各種会議
出張先	岡山市北区御津新工河原邸
調査研究項目 要請・陳情項目 研修会・会議名	岡山市指定重要文化財。建物の内装・土間の工風と（2）倉庫の仕様と研究
応対者/講師名	河原 様
目的	津山市城東の昔町屋の修復への参考
概要	300年ほど前の庄屋の作りが今のまま残っており、文化財として見守られていた。土間や柱の風流で風格があり見事だった。建物の角々まで色々な細工がほどこされており、勉強になった。
得られた成果 市政への反映点 今後の課題点 など	建築設計士、大工、左官を伴って行き、しっかりと勉強したつもりだったが、金では出回れなかった。

※欄が不足する場合は、別紙で添付してください。

今年3月31日

出張報告書

津山市議会議員 西野 修平

出張日	今年10月17日
種別	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究・視察 <input type="checkbox"/> 要請・陳情 <input type="checkbox"/> 研修会 <input type="checkbox"/> 各種会議
出張先	鏡野町と青森「妖精の森」ガラス美術館
調査研究項目 要請・陳情項目 研修会・会議名	ガラス工芸の魅力と吹きガラスの設備見学
応対者/講師名	館長さん
目的	吹きガラスの設備と指導者
概要	昔、城車軌道の町講想がありと二に吹きガラス工房を設置の意向で「知」の事があり、もう一度二の考えを調査
得られた成果 市政への反映点 今後の課題点 など	美伝市湯郷にもあり、 <sup>二市の</sup> 先生は鏡野町職員 員になつてあり貸し出しはむづかしい。倉敷科 学芸術大学の学科があり多くの指導者を 生じている。設備の金額が命のさな...

※欄が不足する場合は、別紙で添付してください。

令和4年3月31日

出張報告書

津山市議会議員 西野修平

出張日	令和3年10月20日
種別	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究・視察 <input type="checkbox"/> 要請・陳情 <input type="checkbox"/> 研修会 <input type="checkbox"/> 各種会議
出張先	出雲市
調査研究項目 要請・陳情項目 研修会・会議名	大社博物館、ジオパーク、木端街道、
応対者/講師名	長迫元議長、須田真知子氏(出雲の職者)
目的	交流都市の奥深さ理解と更なる発展
概要	<p>※19日夕一泊して、朝一で出雲市議会事務局へ行き議長さんとあつ。大社博物館では国産で初めておこなった最古の天目茶碗の展示を見る。これ、長迫元議長、須田氏と会ってジオパークのお話を聞き、須田氏に出雲の海岸を案内してもらった。漁師町の歴史的な形成(とこからとこ通りの灯台が見える)と海岸線に見える地層の断面。そして木端街道は江戸時代に木端の金蔵と製品の同屋街で中津を通って交易を(古所)である。</p>
得られた成果 市政への反映点 今後の課題点 など	<p>今までに出雲市へは10回程行って来たが、この度のジオパークは初めてのこと。山の中の津山とは異なる所である。木端街道は海を通じた交易であり、大きな商売としていた。今は大町通りで苦勞している様である。津山との交流も一層発展させる為にもつとお互いを知り必要がある。</p>

※欄が不足する場合は、別紙で添付してください。

令和4年3月31日

出張報告書

津山市議会議員 西野修平

出張日	令和3年10月 <del>24</del> <sup>30</sup> 日
種別	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究・視察 <input type="checkbox"/> 要請・陳情 <input type="checkbox"/> 研修会 <input type="checkbox"/> 各種会議
出張先	新見美術館
調査研究項目 要請・陳情項目 研修会・会議名	時代を彩った日本画名品展
応対者/講師名	
目的	新見市、新見市教育委員会、新見美術館、山陽新聞、テレビ朝日が主催で、後援が岡山県、岡山県郷土文化財団、(公社)岡山の文化連盟その他、各新聞社や多くの団体が押し揃っている。11月15日までの開催が必要である。
概要	これだけ“なりの入り”の絵画展はあまりない。作品も素晴らしいのだが、企画した団体が2011年一言です。津山でもこれだけの企画が出来るか検討する価値があると思う。
得られた成果 市政への反映点 今後の課題点 など	津山市の文化歴に多くの全国的な団体が感心を持って下さる様勢がある必要がある。

※欄が不足する場合は、別紙で添付してください。

今年3月31日

出張報告書

津山市議会議員 西野 晴平

出張日	今年3月10日
種別	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究・視察 <input type="checkbox"/> 要請・陳情 <input type="checkbox"/> 研修会 <input type="checkbox"/> 各種会議
出張先	山口県山陽小野田市文化会館 = 輸送村ホール - 山陽小野田市焼野海岸 キラカラス未来館
調査研究項目 要請・陳情項目 研修会・会議名	ガラス工芸の調査研究。2/1日本ガラス展(創立50周年記念) 山陽小野田市文化会館で「日本のガラス工芸家のトップレベル の作品が展示されている。 山陽小野田市の3日ガラス工芸の大会が2/12、焼野海岸に キラカラス未来館があり吹きガラス講座が催されている
応対者/講師名	
目的	従来より若物や女性を中心に人気のガラス工芸が生まれている 研究中である。
概要	中津川や鹿島で古くからガラス工芸が盛んで大変興味がある 近年では色々な所にガラス工芸所があり簡単に参加出来る。その 内1つ調査では倉敷科学芸術大学の学科があり指導者も出ている と2つ津山に創作場が生まれている研究中である。
得られた成果 市政への反映点 今後の課題点 など	吹きガラス工芸は単純であるので設備にお金がかかる。 しかし、目の前でも簡単に出来たり楽しんでいる。 これと観光の目玉に出来れば、設備を創る場所 と資金をどう募るのか。

※欄が不足する場合は、別紙で添付してください。

令和3年3月31日

出張報告書

津山市議会議員 西野秀平

出張日	令和3年11月20日
種別	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究・視察 <input type="checkbox"/> 要請・陳情 <input type="checkbox"/> 研修会 <input type="checkbox"/> 各種会議
出張先	瀬戸内市立美術館
調査研究項目 要請・陳情項目 研修会・会議名	隠崎隆一の陶芸
応対者/講師名	
目的	備前焼の新しい創作について
概要	日本でも有数の伝統工芸である備前焼の作家として、長崎県五島市出身の隠崎氏が近年(10年前位から)めざましい頭角をあらわしている。彼の独特の作品を一同に展示したことで視察。本来は現在の備前焼人向園堂伊勢崎氏の弟子であるが、これを見て、今日では単に伊勢崎氏が感化されたという感じもする。津山陶芸協会のアートにも適応出来る作家でもある。
得られた成果 市政への反映点 今後の課題点 など	伝統工芸の技も獲得(切って、新しく花を挿みかけた様子が見える。旧新両面の面白い作品は現代の若者も魅了するだろう。津山には鶴山焼を最期に伝統的な焼物本場として、復活を願うばかりだ。

※欄が不足する場合は、別紙で添付してください。

今年3月31日

出張報告書

津山市議会議員 有野 浩平

出張日	今年3月27日
種別	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究・視察 <input type="checkbox"/> 要請・陳情 <input type="checkbox"/> 研修会 <input type="checkbox"/> 各種会議
出張先	岡山県立美術館
調査研究項目 要請・陳情項目 研修会・会議名	第68回 日本伝統工芸展
応対者/講師名	小. 榎本 元氏
目的	日本の粋と極めたる陶芸・木工・着物(織物)金網工の全国展. 匠の技と一同じに見る.
概要	常に粋と極めたる匠の技と見て目を養う. 是にて技と見振る知識を広く深める. 津山市の小. 榎本 元氏が入選した木工芸の半引き口ワ工芸の実演と指導をされた.
得られた成果 市政への反映点 今後の課題点 など	津山も作北の人材は木工の部には入選するが他は弱い. 津山がスリをもちと技と極めたる様な所へ参加する必要がある. 陶芸も備前はありて津山の歴史から見てもっとかん張ってほしい.

※欄が不足する場合は、別紙で添付してください。

(参考様式2)

分4年3月31日

### 出張報告書

津山市議会議員 西野 隆平

出張日	分3年12月12日
種別	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究・視察 <input type="checkbox"/> 要請・陳情 <input type="checkbox"/> 研修会 <input type="checkbox"/> 各種会議
出張先	岡山市立公民館年経分館
調査研究項目 要請・陳情項目 研修会・会議名	岡の刑務所7ヶ矯正展 11年左開催展
応対者/講師名	
目的	刑務所と地域住民が矯正の益どの様に関わっているか、 (42)
概要	公民館を使って地域の人達が採れた野菜などと と衆人が全国の刑務所で作った作品を販売し、作品を (42) 通じて交流する会であった。刑務所で色々な作業が行 なわれている事を知った。
得られた成果 市政への反映点 今後の課題点 など	津山市でも養作自習会に刑務所を出た人が 来ている。この人達と一般社会がどの様に受け入れる か課題がある

※欄が不足する場合は、別紙で添付してください。



今年3月31日

出張報告書

津山市議会議員 西野 啓平

出張日	今年12月19日
種別	<input type="checkbox"/> 調査研究・視察 <input type="checkbox"/> 要請・陳情 <input type="checkbox"/> 研修会 <input type="checkbox"/> 各種会議
出張先	奈義町文化センター
調査研究項目 要請・陳情項目 研修会・会議名	第19回 赤松町民文化祭 文化がまじにある 伝統英連携事業 THE TRADITIONAL 伝統芸能祭 横仙歌舞伎
応対者/講師名	
目的	岡山県重要無形民俗文化財であり50年以上にわたる活動と結び、町が横仙歌舞伎の専門職員と採用(太夫や三味線などの研修とさせる)と今後は注目している。
概要	舞台と衣装にお金が掛るし、歌舞伎の芸と修得するまで、人手と稽古の時間がとれる。文化を受け継ぐことの大切さを学ばなければならぬ。
得られた成果 市政への反映点 今後の課題点 など	津山にも多くの伝統芸能があるが好む者が少なくていえるという感覚です。津山を代表して全国に発信する意気込みが足りぬと思う。

※欄が不足する場合は、別紙で添付してください。

令和4年3月31日

### 出張報告書

津山市議会議員

西野 浩平

出張日	令和4年1月5日
種別	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究・視察 <input type="checkbox"/> 要請・陳情 <input type="checkbox"/> 研修会 <input type="checkbox"/> 各種会議
出張先	岡山天満屋葺14会館
調査研究項目 要請・陳情項目 研修会・会議名	106回院展
応対者/講師名	
目的	日本画の最高峰 日本美術院の展示会
概要	この院展は山陽新聞社と天満屋が取り仕切っており。この様な展示会が津山でも出来る美術館がほしい。今年も動物、特に猫の展示をはじめ動物の絵が中心。これも時代か。
得られた成果 市政への反映点 今後の課題点 など	風景や静物画だけでなく動物の絵が中心の時代が流れている。特に猫は今日本で大流行していることである。津山市と掛声はかりで早く美術館の建設を。

※欄が不足する場合は、別紙で添付してください。

令4年3月31日

# 出張報告書

津山市議会議員 西野竹平

出張日	令4年2月11日
種別	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究・視察 <input type="checkbox"/> 要請・陳情 <input type="checkbox"/> 研修会 <input type="checkbox"/> 各種会議
出張先	岡山県立美術館
調査研究項目 要請・陳情項目 研修会・会議名	伊豆市所蔵近代日本画展 修善寺物語
応対者/講師名	
目的	津山市に美術館をとの声をまじらす者として、日本を代表する画家の鑑しを見る。
概要	備山大観、靑彦、紫雲工などの作品が主であるが津山市出身の棚田暁山氏の作品が有り、その初めに見えることである。津山出身の画家を發掘することは大変有意義であると思う。
得られた成果 市政への反映点 今後の課題点 など	大川町の津山出身の画家を見つけ、津山市立美術館を創る。

※欄が不足する場合は、別紙で添付してください。

令4年3月31日

出張報告書

津山市議会議員 西野 隆平

出張日	令4年3月31日
種別	<input checked="" type="checkbox"/> 調査研究・視察 <input type="checkbox"/> 要請・陳情 <input type="checkbox"/> 研修会 <input type="checkbox"/> 各種会議
出張先	新見美術館
調査研究項目 要請・陳情項目 研修会・会議名	備中漆展。地場産業の漆による工業展
応対者/講師名	
目的	地場産業の発展につくした人達と技。
概要	新見の漆芸家 山口松太追悼展として他地域の地元の漆芸家の作品が展示。日本伝統産業の漆は自然の山に生え2113漆を育て。そこから液を取り加工してあり さまざまな地域でも盛んであった。津山の木工にも多く使われている。
得られた成果 市政への反映点 今後の課題点 など	津山市代表する木事地師 小原茅文さんの作品もあり。津山市民が目を見開くにはいい。

※欄が不足する場合は、別紙で添付してください。